

とよかわの美術家たち

豊川の美術史



平川敏夫《奥入瀬凍瀑》1998年



島田卓二《白百合》1916年



星野真吾《喪中の作品 手》1964年



・太田山陰《絹本着色五百羅漢草図》・1792年、(西明寺蔵)

会場 豊川市桜ヶ丘ミュージアム1階全展示室 午前9時—午後5時

主催 豊川市桜ヶ丘ミュージアム 後援 豊川市教育委員会

会期 2012年 9月18日(火) — 10月28日(日) 月曜休館 ただし10月8日(月)は臨時開館

無入場料



加藤元白《松に藤図》二曲一隻屏風(個人蔵)

山本須美雄 朝倉勝治 高畑郁子 星野和子 宮城照巳 山本鉄男 平川敏夫 中村正義 星野真吾 畑遼 中島良 市川晃 鈴木武 大森運夫 石河彦男 伊與田正 中島敏男 海野正男 白浜禎吉 佐原泰治 加藤正巳 杉浦俊雄 市川深淵 羽田野保次 多田野仲次 石川照波 島田卓二 夏目泰果 岡田杉峰 加藤元白 横井金谷 太田山陰

豊川市桜ヶ丘ミュージアム

〒442-0064 愛知県豊川市桜ヶ丘町79-2 Tel.0533-85-3775
http://www.city.toyokawa.lg.jp/enjoy/sakuragaokamuseum.html

山口雅英 土屋敦資 小笠原則彰 荻野佐和子 鈴木敬三 井上雅文 宮嶋政穂 菅沼鉄王 野澤博行 中根強司 佐原泰彦 影山捷司 近藤文雄 岩原良仁 清水良治 村上有一 青山龍志 高木勲 高柳繁雄

「出品作家」

※出品作家については予告なく変更する場合があります。

※生年順 敬称略

とよかわの美術家たち

とよかわの

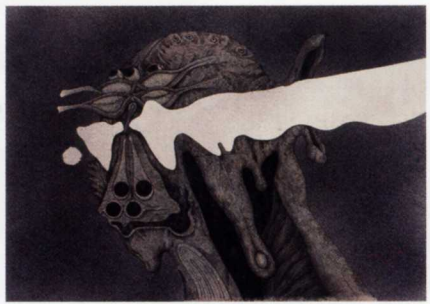
昭 和18年に市制が施行された豊川市は、数度の合併の結果、現在人口18万人の市となりました。



高木勲《粧》1984年

この地域には、江戸時代中期、赤坂で太田山陰という画家が活躍した記録があり、近代以降も黒田清輝に学び油彩画を広めた島田卓二をはじめ、日本画壇に革新をもたらした中村正義や星野真吾、また創画会の大森運夫、平川敏夫、高畑郁子など、全国に誇れる画家が多く存在します。その一方で、郷土にとどまり教員や会社員を続けながら、全国的な美術団体に所属し活動を続けた画家も少なくありません。そして、そのような方々が指導者となり、次代の美術家が育つことで脈々と当地方の美術文化が引き継がれてきました。

本展は、合併を契機として豊川市の美術史を見直し、郷土の画家や作品を省みること、改めて当地方の美術文化を紹介しようとするものです。



近藤文雄《L氏の肖像》1966年



畑遼《復帰の人3》1970年



佐原泰治《たそがれの境内》1997年



石河彦男《ノートルダム・ド・アミアン》1981年



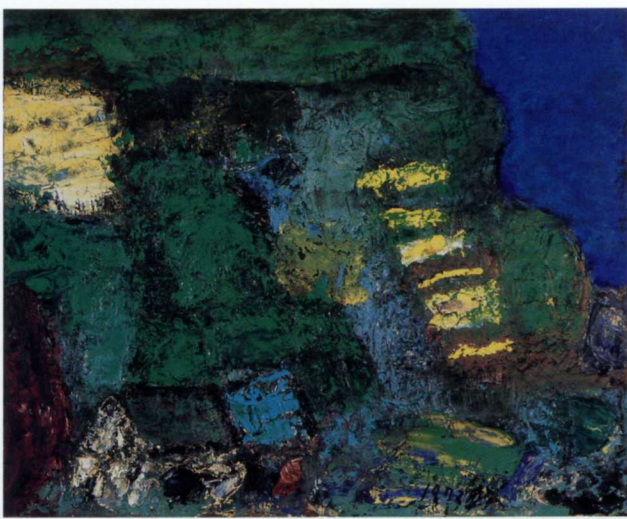
大森運夫《地鳴りII》1971年



市川深淵《秋景山水図(三)》大正末期(個人蔵)



高畑郁子《タントラ考II》1990年



山本鉄男《足摺の村》(個人蔵)



岡田杉峰《富嶽暁光之図》(個人蔵)

□交通案内

電車◆JR飯田線「豊川」駅、名鉄豊川線「豊川稲荷」駅下車徒歩約15分
 バス◆豊橋駅バスのりばから豊鉄バス「イオン豊川店」下車徒歩5分、JR豊川駅前のりばからコミュニティバス千両三上線「上千両集会所」ゆきで「地域文化広場」下車徒歩1分
 車◆東名高速「豊川IC」から約10分、「音羽蒲郡IC」から約30分(駐車場96台無料)
 ※土日は混雑が予想されますので、公共交通機関のご利用や乗合せにご協力ください。



TOYOKAWA CITY SAKURAGAOKA MUSEUM
豊川市桜ヶ丘ミュージアム
 〒442-0064 愛知県豊川市桜ヶ丘町79-2 Tel.0533-85-3775
<http://www.city.toyokawa.lg.jp/enjoy/sakuragaokamuseum.html>

EVENT 関連イベント

- 講演会「豊川市ゆかりの画人たち」
 10月13日(土) 14:00～ 講師＝当館学芸員
 会場＝会議室 定員50名/聴講無料/要申込
 申込み＝8月28日(火)から桜ヶ丘ミュージアム窓口、もしくは電話(0533-85-3775)にて受付[先着順]
- ギャラリートーク
 9月26日(水)、10月21日(日) 各14:00～
 担当学芸員による作品説明会/無料/申込不要
- ワークショップ「白抜き技法で絵手紙を描く」
 10月8日(月・祝) 10:00～、14:00～
 会場＝第2実習室
 各回定員10名/参加無料
 要申込/講師＝当館学芸員
 申込み＝8月28日(火)から桜ヶ丘ミュージアム窓口、もしくは電話(0533-85-3775)にて受付[先着順]